

2023 年 4 月/9 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答案は二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. 試験開始の合図後、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に**最大 1 0 0 0 字程度**（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。鉛筆書きは不可。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。
12. 解答は必ず 1 問につき 1 枚の解答用紙を使用すること

以 上

2023 年 4 月/9 月 大学院商学研究科

修士課程入学試験問題 専門科目

【設問 1】 経営専修 経営領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. 企業の「戦略的柔軟性」の概念を説明した上で、企業間競争において戦略的柔軟性がもたらす企業へのメリットを述べよ。
2. 日本では上場企業において、役員報酬が1億円を超えない場合にはその開示義務はなく、役員報酬が開示されていない企業が多々存在する。仮に役員報酬についてすべての企業で開示された場合、各企業の役員のモチベーションがどのように変化するだろうか。公平理論を説明した上で、それに基づき説明せよ。
3. 非関連型の製品多角化を採用する企業にとって、その戦略の実行に適した企業の組織構造を説明せよ。なぜそのような組織構造が非関連型の製品多角化による価値創造を促進するのか、その理由にも言及すること。

【設問 2】 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の全ての設問に答えなさい。

1. 製品ミックスを考慮した価格戦略を3つあげ、それらについて説明しなさい。
2. 製品ライフサイクル理論の概要を説明し、研究者によって指摘されているその理論の問題点を整理しなさい。
3. 卸売業者が存在する理由の説明として用いられる、「取引数最小化の原理」について図を用いて説明しなさい。

【設問3】 マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

以下のすべての設問に答えなさい。(グラフを描くときにはきちんと横軸と縦軸にラベルをつけなさい。)

1. 生産可能フロンティア (PPF = Production Possibilities Frontier) とは何のことか? 定義を書いて、説明せよ。参考文献にあるような学部レベルの国際貿易のテキストに出てくる標準的な2財モデルの PPF の形状を、リカードモデルとヘクシャー・オリーモデルについて例として描いてみなさい。とくに、ヘクシャー・オリーモデルについては固定係数型のモデルと一般型のモデルの両方について描いてください。2財の名前は財 X と財 Y として、生産量を表す変数としては小文字の x, y を用いなさい。
2. 二つの財、XとYを生産するのに、労働力を L だけ投入することとする。二つの財を生産するのに使われる技術を表すために、投入係数 (これはいろんな呼び名がある。例えば、factor/output ratio とか input-output coefficients、投入・産出係数、技術係数、必要労働係数、unit labor requirement などと 様々な教科書では呼ばれている) = 「1単位の生産財を作るのに何単位の労働を必要とするか」が ALX, ALY で与えられるとする。
 - A) 二つの財、XとYの生産関数を書きなさい。その際に、生産量を表すには x, y を使い、Xセクターに勤める労働者の数を LX 、Yセクターに勤める労働者の数を LY と書きなさい。
 - B) Xセクターの労働生産性を表す数式を書きなさい。
 - C) PPFを表す式を書きなさい。その際に、PPFのグラフにおける内生変数は何か答えなさい。PPFの中で外生変数は何か?
 - D) PPFのグラフを描け。軸や切片のラベルもきちんとつけるように。
 - E) この国の労働力が L から増えたとなると、PPFのグラフはどのようにシフトするか?
 - F) 労働力は元のままで、Yの生産性が上がると、問題にあらわれる変数の値はどれがどう変わるか? その結果、PPFのグラフはどのように変化するか?
 - G) PPFの傾きの絶対値は何を表しているか? 説明しなさい。
 - H) 上の国を A国とし、もし人口が A国と同じ L の国、B国があって、投入係数が BLX, BLY で与えられるときに、もし「A国はXの生産にも、Yの生産にも絶対優位あり、A国はXの生産に、B国はYの生産に比較優位がある」としたら、次に3つあげる二つの数式の間の不等号はどちら向きで表されるか? それぞれについて不等号を $<$ か $>$ で書きなさい。
 - ① $ALX \quad BLX,$
 - ② $ALY \quad BLY,$
 - ③ $(ALX/ALY) \quad (BLX/BLY)$
 - I) 以上のことを踏まえて、国際貿易における絶対優位と比較優位の違いについて、費用の概念を用いて説明しなさい。
3. 国際貿易における通常の特種要素モデルを考えよ。Mセクター(工業製品)は特殊要素

として資本 K を使い、 A セクター(農産品)は特殊要素として土地 T を使う。労働力 L がセクター特長的ではない移動可能要素である。具体的な数字や生産関数は特に指定しないため、参考文献にあるような、一般的に使われるケースを考えればよい。それぞれの設問に答えるのに適切と思うグラフを描いて説明しなさい。

- A) 底辺に労働の総供給量、左下が M セクターに使用する労働投入量の原点、右下が A セクターに投入する労働量の原点とし、縦軸の長さは賃金レベルをあらわすような $VMPL = \text{Value of Marginal Product of Labor}$ の交差するグラフ ($w = VMPL$ が二つある) を描きなさい。この図は、特殊要素モデルにおける労働市場の均衡を表している。
- B) 二つのセクターでの賃金が等しくなることに留意して、この図から均衡レベルの賃金 w 、均衡レベルの各セクターの労働雇用量を図の中で示しなさい。
- C) 同じ図をもう一度別の場所に書き直して、今度は資本家(K の持ち主)のレント(総収入から労働者への賃金を支払った後に残る自分にとっての取り分。 M セクターのビジネスで生まれる会計上の利益のようなもの。注意: 会計上は利益と計上されるかもしれないが、資本の機会費用まで考慮に入れると、経済学上は利益とは必ずしもいえない。従ってレントと呼ぶことにする。)を図中に示しなさい。
- D) 地主のレントを図の中で示しなさい。
- E) 労働者の総収入を図の中で示しなさい。
- F) M の価格だけが10%上昇したときに、均衡賃金はどう変わるか? 資本家のレントは(名目上)増えるか減るか? 地主のレントは? 実質ベースでは効用はよくなるのかそれとも悪化するか? 実質ベースを考えるときには M のアウトプットあたりでは増えるか減るか、 A のアウトプットあたりで増えるか減るかを考えなさい。
- G) この国が小国のとき、自由貿易均衡のもとで、(M と A の相対価格が変化しないとき) K が10%増大したら(例えば、対日直接投資ブームで海外から資本が一気に流れ込んだとしよう)、均衡賃金はどう変わるか? 資本家のレントは(名目上)増えるか減るか? 地主のレントは? 労働賃金は? 実質ベースでは効用はよくなるのかそれとも悪化するか?
- H) この国が小国のとき、自由貿易均衡のもとで、 L が今までよりも10%増えたらどうなるか分析しなさい。

【設問 4】 金融・保険専修 金融領域

以下の(1)～(10)の問いにすべて答えてください。

今、日本銀行(日本の中央銀行)が、国庫短期証券(T-Bill: 政府が発行する償還期間 1 年以内の債券)の売りオペレーションを行ったとしよう。

- (1) 上の売りオペレーションによって、日本銀行のバランスシートの資産側、負債側はそれぞれどのように変化するか。
- (2) 上の売りオペレーションで国庫短期証券を購入した民間銀行のバランスシートの資産側、負債側はそれぞれどのように変化するか。
- (3) (2)の民間銀行のバランスシートの変化は、コール市場(金融機関同士が短期の資金の貸借を行う市場)の金利であるコールレートをどのように変化させるか。また、変化させる理由を述べよ。
- (4) (3)のコールレートの変化は、短期金融市場の様々な金利(利回り)をどのように変化させるか。また、変化させる理由を述べよ。
- (5) (4)の短期金融市場の金利(利回り)の変化は、長期金融市場の金利(利回り)をどのように変化させるか。また、変化させる理由を純粋期待仮説の観点から述べよ。
- (6) (3)(4)(5)の金融市場一般の金利(利回り)の変化が日本の金融市場でおけるとすると、それは円・ドルの為替レート(1ドル = x 円)をどのように変化させると考えられるか。また、変化させる理由を述べよ。
- (7) 満期まで 10 年の国債の額面を F 、1年あたりのクーポンを C 、金融市場の無リスク金利(利回り)を r としたとき、この国債の価格 B はどのような式で表されるか。ただし、国債にはデフォルト・リスクがないものとし、金融市場の無リスク金利(利回り)は短期の金融商品も長期の金融商品も共に r であるとする。
- (8) (3)(4)(5)の金融市場一般の金利(利回り)の変化は、(7)の国債の価格 B をどのように変化させるか。
- (9) 毎年配当を支払う株式を考える。この株式が今から t 年後に支払う配当額を D_t とする($t = 1, 2, 3, \dots, \infty$)。金融市場の無リスク金利(利回り)を r 、この株式のリスクプレミアムを π とすると、配当割引モデルによれば、この株式の価値(ファンダメンタルズ) P はどのような式で表されるか。
- (10) 株価は株式の価値 P に等しくなるものとしよう。その場合、上のように日本銀行が国庫短期証券の売りオペレーションを行うと、株式の価格(株価)はどのように変化すると考えられるか。(9)の P の式と関連させながら、日本銀行の売りオペレーションが株価を変化させるメカニズムをできるだけたくさん述べよ。

【設問 5】 金融・保険専修 保険領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. 企業リスクマネジメント(ERM: Enterprise Risk Management)では、従来の保険的リスクマネジメントと異なり、保険以外の金融と保険の両方の技術が使われる。この保険的リスクマネジメントと企業リスクマネジメントを比較して説明しなさい。
2. 高齢社会への対応には保険制度が活用されている。超高齢社会と保険の関係について、日本または自国の事例を挙げて説明しなさい(選択した国名を明記すること)。

【設問 6】 会計専修 財務会計領域

以下の全ての問い(1～3)に答えなさい。

1. 財務会計上「資産」とは何か説明しなさい。一般的な定義や特徴を説明すると同時に、異なる種類・タイプの資産についても具体的な例を挙げながら説明しなさい。
2. 本邦(日本)の上場会社で電力発電会社 A を想定しなさい。A 社の貸借対照表には「原子力発電施設」が1兆円で計上されているものと想定しなさい。ただし、同原子力発電施設は諸般の事情により過去10年間稼働していない。この時、財務会計・会計上問題となりうる論点について説明しなさい。
3. (1)財務会計上「のれん」とは何か説明しなさい。(2)国際財務報告基準(IFRS)を前提としたとき、「のれん」はどのように会計処理されるか説明しなさい。(3)世界的に「のれん」の貸借対照表残高が増加していると指摘されている。この現象が与える経営・経済・社会的な影響について述べると同時に、国際会計基準審議会(IASB)が「のれん」に関する会計基準に変更を加えるべきか否か意見を述べなさい。

【設問 7】 会計専修 管理会計領域

以下の各問に解答しなさい。

(設問 1)

下記の等式は、管理会計の基本的な考え方を象徴するものである。

$$\text{売上高} - \text{利益} = \text{原価}$$

この式の意味するところを、短期利益計画および予算編成に関連づけながら解説しなさい。

(設問 2)

上記の等式に類似したものが、製品の設計・開発プロセスでもしばしば適用される。当該プロセスは、通常なんと呼ばれているか。また、そのプロセスで適用される等式と先の等式との違いを明らかにしながら、この場面における管理会計の役割について解説しなさい。

(設問 3)

企業予算はこれまでさまざまな批判にさらされてきた。その結果、近年では脱予算経営に象徴される現状の予算からの改革を標榜する議論が台頭しつつある。この種の議論の背景にある企業予算ないし予算管理が抱える問題点はどのようなものか解説しなさい。

(設問 4)

マネジメント・コントロールは、ときに管理会計の代名詞とも目されてきた。また、それは「人による人の管理活動」であるともいわれる。この場合、人とは具体的に誰を指すのであろうか。さらに、その人の意味するところは近年では拡大解釈されつつある。そこで、これらの点を踏まえて、人に着目してマネジメント・コントロールの意義を解説しなさい。

〔設問 8〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

1. ある消費者の効用関数を $U(x, L) = x(24 - L)$ とする。 x は消費量、 L は労働時間である。時間あたり賃金は w 、消費財の価格は p 、労働以外から得る固定的な所得は m とする。
 1. 消費者の効用最大化問題を示し、需要関数と労働供給関数を求めよ。
 2. $p = 1$ 、 $m = 12$ とする。労働供給関数を図示せよ。
 3. $w = 2$ とする。無差別曲線、予算制約線、最適消費量、最適労働供給量を図で示せ。最適消費量と最適労働供給量の組み合わせにおいて、消費量と労働供給量の限界代替性が満たす性質について説明せよ。
 4. w が 2 から 4.5 に変化したとする。労働供給の変化について、代替効果と所得効果を明示し、図を用いて説明せよ。
2. ある市場において多くの企業が競争的に活動している。 x を市場全体の生産量とすると、企業全体の費用関数は $C(x) = 2x^2 + 2x$ 、市場の逆需要関数は $P(x) = -2x + 20$ であらわされたとする。生産に伴う排水のため住民は被害を受けており、社会的な損害額は $D(x) = 2x^2$ で表されたとする。
 1. 均衡での生産量と総余剰を示せ。
 2. 総余剰を最大化するため、政府は生産 1 単位あたり t の課税を企業に課すこととした。課税額 t を求め、課税後の生産量と税收、総余剰を示せ。
 3. 1 から 2 への変化を図示し、生産量などを明示せよ。

〔設問 9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下の閉鎖経済モデルを考える。

$$C = 200 + 0.4(Y - T) \quad [1]$$

$$I = 100 - 60r \quad [2]$$

$$G = T \quad [3]$$

$$L(Y, r) = 160 + 0.4Y - 120r \quad [4]$$

$$M^S = 200 \quad [5]$$

C は消費、 Y は所得、 T は租税、 I は投資、 r は実質利子率、 G は政府支出、 $L(Y, r)$ は実質貨幣需要関数、 M^S は名目貨幣供給をそれぞれ表す。 C 、 Y 、 T 、 I 、 G はいずれも実質値である。利子率の単位はパーセント、他の変数の単位は兆円である。物価水準は P とする。

問題(1)～(3)では、価格は硬直的であり、物価水準は1とする。

- (1) 財市場と貨幣市場はそれぞれ均衡しているとする。IS 曲線および LM 曲線を導出し、均衡 GDP を求めよ。政府支出は0とする。
- (2) 完全雇用 GDP は 420 兆円とする。財政政策として 20 兆円の政府支出を行ったとき、完全雇用 GDP を達成することは可能であろうか。可能でない場合、金融政策（名目貨幣供給量の増加）を組み合わせることで達成可能か。
- (3) 投資の利子率に対する感応度がより高い場合、財政政策と金融政策（名目貨幣供給量の増加）の効果はそれぞれどのようなになるか。直観的に説明せよ。

以下の問題(4)～(7)では、物価水準が伸縮的に変化する場合を考える（ただし物価水準についての期待形成は考慮しない）。完全雇用水準での労働投入量は 400 とする。

- (4) 経済は式[1]から[5]で表され、政府支出は0とする。総需要曲線を導出せよ。
- (5) L を労働投入量とし、マクロ生産関数は $Y = 21\sqrt{L}$ とする。この生産関数において、労働の限界生産物が逓減することを示せ。
- (6) 労働供給関数は実質賃金の増加関数とする。名目賃金率が伸縮的に変化する労働市場の価格調整メカニズムが十分に働く場合、実質賃金率はいくらになるか。
- (7) 名目賃金率は 1.05 であり、下方硬直的とする。マクロ生産関数は $Y = 21\sqrt{L}$ である。総供給曲線をもとめ、問題(4)で求めた総需要曲線とともに図示せよ。ただし、均衡点については理由とともにおよそその位置を示すのみでよい。

—以上—

解答用紙

受 験 番 号	
氏 名	

(問題番号)

--

[illegible]